

(別添4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和4年1月26日記載)

これまで、段階を追いながら園の中長期計画に基づきその都度、計画の見直しを行い取り組んできたことが評価され、また、チームとしての努力が認められたことを大変嬉しく思います。そして、保護者の皆さまや地域の皆さまに感謝すると共に、これからも常に前を向いて歩み続けたいと決意を新たに致しました。

コロナ禍により、私たちの生活は制限を余儀なくされ、以前のような日常を取り戻せるという希望よりも、コロナと共存していく覚悟を持つ必要があると感じています。ただ、子どもの育ちに欠かせない人との関わり等は、こんな時だからこそより大切にし、集団保育の醍醐味や独自性と専門性を更に発揮していく必要があると思います。そして、社会の縮図が保育園に現れるのだということ的前提に、多様性に対して寛容性のある明星保育園を目指していく覚悟です。また、利用者調査に於いては、大変ありがたい評価を頂くことができました。これに甘んじることなく、これからも保護者の気持ちに寄り添い互いに協力し合って、子ども達の幸せのために自己研鑽を重ね邁進してまいりたいと思います。

今後の課題は、インクルーシブな保育実現に向けて、人権を学ぶという視点から LGBT 等をはじめとし、幼少期からの包括的な性教育などをどのように捉え取り組むかを真剣に考えていく必要があると感じています。ユネスコの「国際 SEXUALITY 教育ガイダンス」にも、5歳から8つの主なコンセプト「人間関係」「価値観、人権、文化、セクシャリティー」「ジェンダーの理解」「暴力と安全確保」「健康と幸福のためのスキル」「人間の体の発達」「セクシャリティーと性行動」「性と生殖器に関する健康」について、段階的に積み重ねて学習していくとあります。幸せの形は、人それぞれで、個性を大切に自分らしく生きることこそ価値があり、尊いのだということこの明星保育園から社会全体に向けて発信できたらと考えています。

評価調査者の皆様には、ご指導ご助言をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

- * 公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名及び押印をすること。）を提出すること。
- * 評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。

社会福祉法人 明星保育園
園長 山内 ひろみ

